

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個20事02

政策名	4 環境にやさしい港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 担当課長(プレジャー ボート対策担当)
基本施策名	06 秩序ある港湾環境づくり	事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7864
個別施策名	20 放置艇対策を推進する	継続	維持	維持		
事務事業名	02 プレジャーボート係留保管の適正化に関する条例等の策定				事業 期間	平成13~25年度 ※「その他特記事項」
目的	プレジャーボートを適正に係留保管できるようにします。				根拠 法令等	
概要	放置等の状態にあるプレジャーボートについて、係留保管の適正化を図るため、地域の実情を踏まえた規制内容の条例を制定します。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	他港調査結果を整理し、情勢の変化に対応しながら、条例化に向けて関係機関との調整等を行い、条例の原案の作成作業を進めていきます。				関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	他港調査結果を整理し、情勢の変化に対応しながら、地域の実情を踏まえた上での問題点等の検討を関係機関と打合せ・調整等を行いました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	23	17	85	90	103	318	(款項目節) 港営費/港営管理費/港客総務費/①観償費、②旅費、③食糧費、 ④使用料及び賃借料、⑤負担金・補助金及び交付金
一般会計	千円	23	17	85	90	103	318	(算出計算式) ①12,600円×2名×2回=50,400円 ②(580円×1名×2回)+(1,160円×1名×2回)=3,480円 ③2,800円1名)+(37,800円1名)+(18,200円1名)+(17,900円1名)=97,820円 ④2,500円+3,000円=5,500円 ⑤(11,200円×1回)+(9,200円×1回)+(2,750円×2回)=25,900円 ⑥(10,000円×2回)+(3,000円×1回)=23,000円 計①+②+③+④+⑤+⑥=206,100円-1/2=103,050円(個20事03) (その他)
事業会計	千円							
その他	千円							
人員費 計	千円	3,433	3,392	3,448	3,574	2,628	16,475	
正規職員	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.30		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	3,456	3,409	3,533	3,664	2,731	16,793	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	最終目標	25	備考(指標の算定方法など)
関係機関や利用者等と合意形成に向けた調査・調整回数(回)	目標	-	-	-	-	-	-	-	合意形成への調査・調整回数を判断の指数とします。
	実績	2	1	1	2	2			
	達成率(単年度%)	-	-	-	-	-	-	-	
条例制定への進捗率(%)	目標	20.0	25.0	5.0	5.0	5.0	(累計)100		条例制定への進捗率を判断の指数とします。
	実績	15.0	20.0	5.0	5.0	3.0			
	達成率(単年度%)	75.0	80.0	100.0	100.0	60.0			
達成率(累計%)	25.0	45.0	50.0	55.0	58.0				
平成25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							港湾法等法令に定められた事務であり、本組合が関与することとなっています。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							港湾法等法令に定められた事務であり、目標の達成及び個別施策への貢献については関係機関との調整途上です。
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							他港調査として、他港への視察やプレジャーボート関係の研究会への参加の他インターネット、電話を通じて、広く多くの情報を収集しており、最小のコストで成果をあげています。受益者に適正に負担させることについては「名古屋港プレジャーボート対策に関する実施計画と展開プラン」にて整理されており、港湾法等法令に定められた事務として本組合が行っています。
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	延伸・統合	➡	➡	・引き続き、係留保管の適正化条例の検討を進めていくため。 ・放置艇対策の推進に係る事業として統合。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				
他港調査結果を整理し、情勢の変化に対応しながら、条例化に向けて関係機関との調整等を行い、条例の原案の作成作業を進めていきます。				